

2018年11月4日

課題名：胃食道静脈瘤破裂に対する内視鏡的胃食道静脈瘤結紮術（EVL）後の予後不良
予測因子に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、食道静脈瘤破裂に対して内視鏡止血術を行った患者さんの検査データや経過を解析することで、内視鏡止血後の予後を予測する因子を明らかにすることを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2012年1月から、2017年12月までの間に、食道静脈瘤破裂であると診断され、当院に緊急入院し、内視鏡的結紮術を施行された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、造影CT検査や腹部超音波検査の結果、血液検査の結果、救急センター受診時の血圧と心拍数、内視鏡検査所見、治療後の経過

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
消化器内科 研究責任者 上野真行

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明